



稲作情報 第3号

（育苗～田植、本田初期の管理）

JA夢みなみ(すかがわ岩瀬地区・あぶくま石川地区)、県中農林事務所須賀川農業普及所

令和8年4月22日～

令和8年5月19日

1 気象庁発表 東北地方発表 1ヶ月予報（4月18日～5月17日までの見通し）

天候予報(4月16日発表)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。平均気温は高い見込み、降水量はほぼ平年並の見込み、日照時間はほぼ平年並の見込みです。

2 移植時の注意点 ～適切な植付本数と植付深を！～

○移植時は浮き苗を防ぐため、ひたひた水もしくは落水状態で田植えをしましょう。

○植付本数は **3～4本/株、植付の深さは2～3cm程度**が目安です。

→植付本数が多くなった場合、細い茎となり、軟弱で倒伏のリスクが高まります。

→深植えした場合、分けつの発生が抑えられ茎数が少なくなるリスクが高まります。

○苗が傷むため、強風時や低温時の田植えは、できるだけ避けましょう。

○補植は除草剤散布の前に行いましょう。置き苗はいもち病の発生源となるので、補植後すぐ除去してください。

移植が遅れた場合や育苗日数が長くなってしまった場合の対策

○長く育苗した苗は老化が進み、活着が遅れる可能性があります。

移植が遅れる場合や育苗日数が長くなる場合は

移植2～3日前に育苗箱1枚当たり硫酸5gを1Lの水に溶かして追肥してください(窒素成分1g/箱)。

○追肥後は葉焼けを避けるために軽く水やりをし、苗についた肥料を洗い流してください。

※高密度播種は表1のように育苗日数が短いため、適切な育苗日数で管理することが第一です。

育苗日数が長くなった場合、老化苗の発生リスクが高まるので特に注意が必要です。

表1 標準的な播種量と育苗日数の目安

	播種量(乾粳 g/箱)	育苗日数(日)	草丈(cm)	葉齢(葉)
稚苗	200	20～25	10～13	2.2～2.5
中苗	100	30～35	13～15	3.0～3.9
高密度播種(密苗・密播)	250～300	15～20	10～12	2.0～2.3

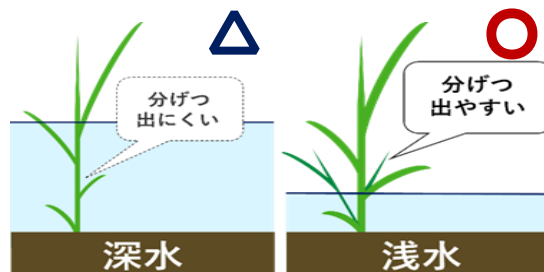
※播種量は催芽粳の場合、乾粳の約1.2倍量となります。

3 移植後の水管理 ～健苗であれば活着もスムーズです～

○移植直後～活着まではやや深水管理(5cm程度)とし、移植後の苗を保護します。

○強風や低温時は、特に深水管理を徹底しましょう。

○新しい根が出てきたら(=活着)、浅水管理(3cm程度)として分けつの発生を促進しましょう(右図)。



春の農作業安全運動展開中です！(3月1日～5月31日)

○田植機やトラクター等の点検や清掃時に、作業機に巻き込まれ死傷する事故が発生しています。

○点検・清掃を行うときは、**必ずエンジンを切る**ようにしてください。

○トラクターの安全フレームは立てて作業をしてください。

○盗難防止のため、機械の保管場所は必ず施錠しましょう。



4 雑草防除 ～農薬使用時はラベルの確認を～

- 雑草の種類と葉齢にあわせて除草剤を選択してください。
- 雑草の出葉は気温の影響を受けます。特にヒエは高温が続く場合に3日程度で1枚出葉すると言われています(図1)。移植前後が高温の場合は、除草剤の散布が遅れないように特に注意してください。
- 代かきした時点で雑草は動き始めます。代かきから田植えの日数は3～4日以内を目安にしましょう。それよりも日数が空く場合は、代かき時の初期剤の散布を検討してください(図2)。
- 薬剤のラベルで使用時期・使用方法・使用量を確認し、適切に散布しましょう。また、除草剤は移植と直播で使用方法(時期)が異なるため注意が必要です。

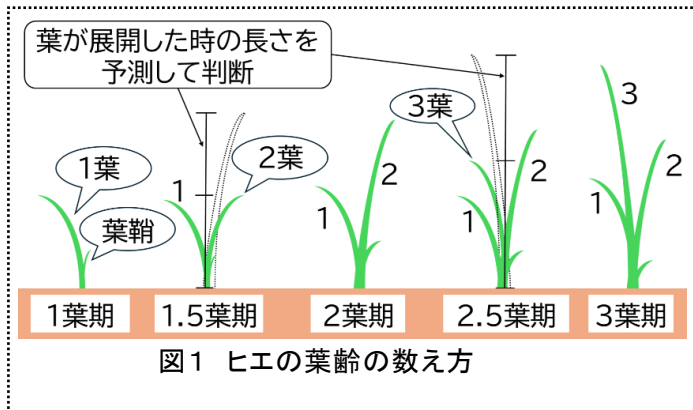


図1 ヒエの葉齢の数え方

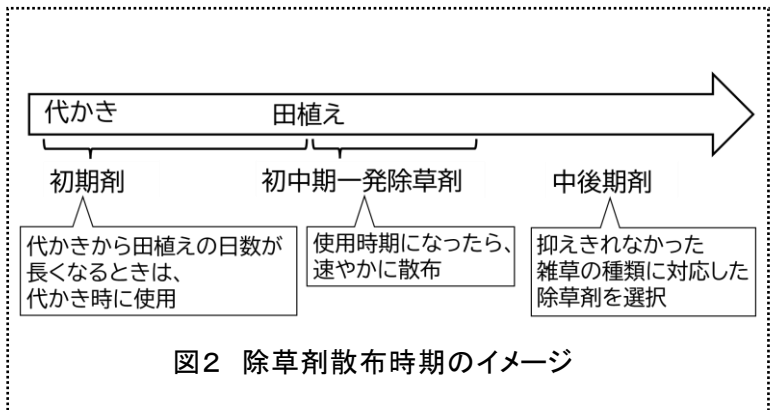


図2 除草剤散布時期のイメージ

5 除草剤を効果的に使用するために・・・

- 田面が露出してしまうと、その部分では除草剤の効果が得られないため、代かきを丁寧に行い、ほ場の均平化に努めましょう。
- 水もちの悪い水田は除草剤の効果が劣ります。畔塗りの実施により漏水対策に努めましょう。
- 散布後3～4日間は湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は止水し、落水や掛け流しをしないようにしましょう。

6 藻類・表層はく離対策

- 田植後に好天が続く、気温の上昇に伴い藻類が多く発生することがあります。
- 多発すると水温・地温の低下や苗のなぎ倒しによる初期生育の抑制や除草剤の拡散阻害、直播栽培では苗立不良の原因となることがあります。
- 藻類・表層はく離が見られた場合、表2を参考に対策を講じましょう。



藻類による苗のなぎ倒し

表2 藻類・表層はく離対策

	対策1 発生予防	対策2 水管理	対策3 発生した場合の薬剤防除
藻類	登録のある除草剤を施用する	ほ場の水を入れ替える	モゲトン粒剤を使用する
表層はく離	同上	排水し、2～3日後に入水する	同上

7 ガスわき対策

- 湛水後、高温が続くと、水田内の稲わら等が急速に分解し、稲の根にとって有害なガス(ガスわき)が発生します。
- ガスわきにより、根は生育が抑制され黒く変色し、稲の生育停滞や分けつの発生の遅れが出る場合があります。
- 葉の黄変やガスわきといった異常が確認された場合は、落水をしてガスを抜き、根に酸素を供給しましょう。



ガスわきの様子

<p>県中農林事務所須賀川農業普及所 電話(0248)-75-2180</p>	<p>ご不明の点は、JA夢みなみ、須賀川農業普及所にお問い合わせください 次回の発行予定日は令和8年5月20日(水)です。</p>
---	---

本資料は、4月20日現在の農薬登録情報を基に作成しています。農薬使用の際は、最新情報を確認願います。